



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 KYCOMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9685 URL http://www.kyd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 正 樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長IR担当 (氏名) 吉村 仁 博 TEL 0776-34-3512
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,355	△0.8	25	△61.9	36	△41.5	16	△44.3
29年3月期第2四半期	2,373	20.8	66	△25.9	62	△13.9	30	△60.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 17百万円 (13.8%) 29年3月期第2四半期 15百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	3.31	ー
29年3月期第2四半期	5.94	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	4,628	2,048	44.3	403.32
29年3月期	4,670	2,031	43.3	398.47

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,048百万円 29年3月期 2,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
30年3月期	ー	0.00			
30年3月期(予想)			ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成30年3月期の期末における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,470	13.6	240	51.4	260	58.8	170	212.2	33.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	5,115,492株	29年3月期	5,115,492株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	35,421株	29年3月期	35,421株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,080,071株	29年3月期2Q	5,081,046株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、欧米の政治リスクに対する警戒感やシリア、北朝鮮による地政学的リスクの高まりなど、海外要因を中心に先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のなかで当社グループは、事業の柱であるソフトウェア開発及び関連業務やコンピュータ関連サービス事業を中心に、グループ間で連携を取りながら提案営業の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は23億55百万円（前年同期比0.8%減）となりました。また、新規事業や新会社譲受（M&A）に伴う減価償却費及びのれん償却の負担により、営業利益は25百万円（前年同期比61.9%減）、経常利益は36百万円（前年同期比41.5%減）となりました。これに、営業外損益の計上、特別損益の計上及び税金費用等を加味した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円（前年同期比44.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

当社グループの報告セグメントは、業績の評価、事業戦略の構築、経営資源の配分等を行ううえで重要性に基づいて決定しており、「情報処理事業」、「不動産事業」、「レンタカー事業」、「人材関連事業」の4つで構成されています。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、情報処理事業では売上高は18億87百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は71百万円（前年同期比38.4%減）、不動産事業では売上高は70百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は27百万円（前年同期比24.5%増）、レンタカー事業では売上高は77百万円（前年同期比73.9%増）、営業損失は18百万円（前年同期は26百万円の営業損失）、人材関連事業では売上高は2億72百万円（前年同期比3.4%減）、営業損失は31百万円（前年同期は11百万円の営業損失）となりました。これに、その他及び調整額を加味した結果、売上高は23億55百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は25百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び総資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は46億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円の減少となりました。

流動資産は15億67百万円となり、13百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が17百万円、有価証券が69百万円増加したこと及び、受取手形及び売掛金が70百万円減少したことによるものであります。

固定資産は30億60百万円となり、54百万円減少いたしました。これは主に減価償却及びのれん償却による減少であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は25億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円の減少となりました。

流動負債は13億2百万円となり、67百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が10百万円、未払金が49百万円増加したことによるものであります。

固定負債は12億77百万円となり、1億26百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億27百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は6億27百万円で、前連結会計年度末に比べて17百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1億73百万円（前年同期は1億84百万円の増加）となりました。主な増加の内訳は、税金等調整前四半期純利益28百万円、減価償却費61百万円及び売上債権の減少70百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は2百万円（前年同期は6百万円の減少）となりました。主な増加の内訳は、投資有価証券の売却による収入1億16百万円であります。主な減少の内訳は、投資有価証券の取得による支出1億1百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1億60百万円（前年同期は1億99百万円の減少）となりました。増加の内訳は、短期借入れによる収入4億40百万円であります。主な減少の内訳は、短期借入金の返済による支出4億30百万円、長期借入金の返済による支出1億43百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出26百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,377	627,755
受取手形及び売掛金	625,054	554,740
有価証券	115,185	185,175
商品	6,771	6,968
仕掛品	14,869	22,918
原材料及び貯蔵品	1,615	1,259
その他	183,834	172,119
貸倒引当金	△3,386	△3,208
流動資産合計	1,554,321	1,567,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	596,163	581,004
土地	1,179,740	1,179,740
その他（純額）	434,835	427,024
有形固定資産合計	2,210,738	2,187,769
無形固定資産		
のれん	164,296	139,725
その他	14,931	16,089
無形固定資産合計	179,227	155,814
投資その他の資産		
投資有価証券	438,493	433,907
その他	322,823	318,806
貸倒引当金	△35,887	△35,887
投資その他の資産合計	725,429	716,826
固定資産合計	3,115,396	3,060,411
繰延資産	463	394
資産合計	4,670,181	4,628,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,026	50,833
短期借入金	240,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	294,700	278,984
未払金	326,820	376,704
未払法人税等	29,073	15,714
賞与引当金	77,990	82,831
その他	207,533	247,535
流動負債合計	1,235,144	1,302,603
固定負債		
長期借入金	1,181,456	1,053,671
退職給付に係る負債	77,254	75,724
その他	144,954	147,637
固定負債合計	1,403,665	1,277,034
負債合計	2,638,809	2,579,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
資本剰余金	—	7,309
利益剰余金	382,081	397,113
自己株式	△9,413	△9,413
株主資本合計	1,985,175	2,007,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,107	40,246
為替換算調整勘定	△1,010	1,133
その他の包括利益累計額合計	39,096	41,379
非支配株主持分	7,099	—
純資産合計	2,031,371	2,048,896
負債純資産合計	4,670,181	4,628,534

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,373,485	2,355,563
売上原価	1,851,526	1,881,406
売上総利益	521,959	474,156
販売費及び一般管理費	454,988	448,665
営業利益	66,970	25,491
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,311	9,128
有価証券運用益	—	5,428
その他	14,349	9,182
営業外収益合計	23,661	23,739
営業外費用		
支払利息	11,505	9,378
有価証券運用損	14,997	—
その他	1,890	3,461
営業外費用合計	28,393	12,840
経常利益	62,237	36,391
特別利益		
投資有価証券売却益	3,906	816
特別利益合計	3,906	816
特別損失		
投資有価証券評価損	8,388	—
固定資産除却損	0	—
訴訟関連損失	—	7,672
投資有価証券売却損	—	654
特別損失合計	8,388	8,327
税金等調整前四半期純利益	57,756	28,880
法人税、住民税及び事業税	26,035	13,638
法人税等合計	26,035	13,638
四半期純利益	31,721	15,241
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,227	16,821
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,493	△1,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,101	139
為替換算調整勘定	△10,218	2,143
その他の包括利益合計	△16,320	2,283
四半期包括利益	15,401	17,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,907	19,105
非支配株主に係る四半期包括利益	1,493	△1,580

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	57,756	28,880
減価償却費	58,399	61,033
のれん償却額	24,570	24,570
繰延資産償却額	69	68
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△642	△178
受取利息及び受取配当金	△9,311	△9,128
支払利息	11,505	9,378
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,370	△1,529
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,141	4,841
固定資産除却損	0	—
有価証券運用損益（△は益）	14,997	△5,428
投資有価証券売却損益（△は益）	△3,906	△161
投資有価証券評価損益（△は益）	8,388	—
訴訟関連損失	—	7,672
売上債権の増減額（△は増加）	73,121	70,314
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,756	△7,890
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,144	△8,193
その他	32,563	35,093
小計	233,383	209,343
利息及び配当金の受取額	9,407	9,152
利息の支払額	△10,939	△9,301
訴訟関連損失の支払額	—	△7,672
法人税等の支払額	△46,897	△28,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,953	173,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,061	△3,522
無形固定資産の取得による支出	△4,190	△2,712
投資有価証券の取得による支出	△197,516	△110,500
投資有価証券の売却による収入	213,517	116,653
貸付けによる支出	△12,300	—
貸付金の回収による収入	2,151	2,520
その他	△718	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,117	2,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	280,000	440,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△430,000
長期借入れによる収入	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△168,196	△143,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21,476	△26,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,672	△160,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	212	2,512
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△20,624	17,378
現金及び現金同等物の期首残高	677,276	610,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	656,651	627,755

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。